

かけがえのない子どもたちの命に関する決議

2月20日、市内の中学生が多摩川河川敷で殺害され、遺体で発見されるという、大変痛ましい事件が発生した。

本市議会として、ここに謹んで哀悼の意を表するとともに、併せて、御遺族の方々に心からお悔やみを申し上げるところである。

この事件が起こる前、被害に遭われた中学生は、逮捕された容疑者等の他校生徒や年上の少年と付き合うようになり、そうした中で容疑者の一人から激しい暴行を受け、友人に相談していたということがあり、また、今年に入ってから不登校が続いていた。

このように被害者から救いを求めるサインがあったにもかかわらず、助けられなかったことは、痛恨の極みであって、子どもたちからのサインを見逃さず、解決するための仕組みを作っていくのは、私たち大人の責務である。

本市では、これまで、子どもたちの命やきずなを大切にし、学校教育の充実や、人権オンブズパーソンなどの相談体制の整備、スクールソーシャルワーカーの派遣などに取り組んできたが、今回の事件を十分に検証し、二度とこのような悲劇が起こらないようにしなければならない。

川崎の、そして日本の未来を担う子どもたちが、このような悲しい事件に巻き込まれることなく、健やかに育まれるためには、現在、市長事務部局及び教育委員会でも検証を進めているが、学校及び家庭だけの問題としてではなく、行政、警察や地域住民、各種団体も参加し、地域ぐるみで取組を進めることが重要であり、本市議会としてもこれらの取組を支援し、役割を果たしていく必要がある。

未来を担う子どもたちが、仲間や友人、かけがえのない命を大切にし、もっと大人を信じ、悩みを打ち明け、相談できる環境を整えるとともに、私たち大人は、子どもたちの悩みを全力で受け止め、解決への道筋を一緒に考えていかなければならない。

よって、本市議会は、かけがえのない子どもたちの命のため、あらゆる努力を全力で続けていくことを強く決意するものである。

以上、決議する。

年 月 日

川崎市議会

川崎市職員の不祥事の根絶を求める決議

公務員は、全体の奉仕者としての強い責任感を持ち、高い倫理規範に従って行動することが求められている。

しかしながら、本市では懲戒処分を受けた職員が過去 3 年間で 48 人に上り、今年に入ってから先月までに窃盗や官製談合防止法違反、傷害、強制わいせつ未遂などの容疑で職員 6 人が逮捕される事態が明らかになり、市民の行政に対する信頼が大きく揺らいでいる。

特に、一握りの人間の行為とは言え、教職員の不祥事が数多く発生していることは、教職員への信頼を損ねるだけでなく、学校が信頼され、教職員が尊敬されてこそ成り立つ教育の条件を大きく揺るがしていると言わざるを得ない。

本市で相次ぐ職員の不祥事の連鎖を断ち切り、市民の市政への信頼を回復することは組織全体が総力を挙げて取り組むべきことであり、そのことを職員一人ひとりに自覚させ浸透させることが強く求められる。

よって、本市議会は、全ての職員がこの現状を真摯に受け止め、公務員として求められる高い使命感や倫理観を持って職責を全うするとともに、全組織を挙げて不祥事の根絶へ向け、全力を挙げて取り組むことを強く求めるものである。

以上、決議する。

年 月 日

川崎市議会